

2023年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要 (WEB 公開用)高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [蓬田皓介]

学年・組・番号 [3年 C組 24番]

研究課題: 巡礼ノートから見るアニメ「聖地巡礼」と地域振興

(英文) Anime Pilgrimage as Seen from Pilgrimage Notes and regional revitalization

研究概要:

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200~400字で記入してください)

近年、アニメ作品の舞台となった地域をファンが訪れる「聖地巡礼」が盛んになり、その町おこしへの波及効果が注目されるようになってきている。しかし「聖地巡礼」は一過性のものであるという側面をもつ。町おこしとしての効果を最大限発揮するためには「聖地巡礼」を継続的なものにしていく必要がある。

そこで本研究では「聖地巡礼者」の行動に着目することで継続的な「聖地巡礼」のあり方について考究したい。「聖地巡礼者」の行動を明らかにするために「巡礼ノート」を用いて研究を行う。研究対象は『あの夏で待ってる』と『TARITARI』の2作品である。これらは同時期に公開された似たジャンルの作品であり、舞台となった長野県小諸市、神奈川県藤沢市が「聖地」として盛り上がりを見せている。2作品の巡礼ノートの書き込み数や記述内容の比較から「聖地巡礼」を継続的なものにするための要素を明らかにする。またこの結果を2021年に放送された和歌山県友ヶ島を舞台とするアニメ『サマータイムレンダ』の「聖地巡礼」に当てはめ今後の「聖地巡礼」に資するものとする。

研究成果:

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200~400字で記入してください)

「巡礼ノート」の書き込み数の比較から「聖地」で開催されるイベントや企画の有用性が明らかになった。また書き込み内容から「巡礼者」の意識がアニメから「聖地」がある地域に移ることで複数回の「巡礼」が期待できることが明らかになった。そのためには「聖地」となった地域の取り組みが重要である。地域全体が「聖地巡礼」に協力することでその地域の魅力が「聖地巡礼者」に広まり、評価される。このことは「聖地」に関連することだけでなく、地域全体の観光が活性化されることも期待できる。そのためには地域の人々、自治体、コンテンツ制作者が協力し、アニメと地域の融合を深めるための取り組みを行うことが必要である。アニメを通して地域と「聖地巡礼者」との関係が深まり、地域振興とともに「聖地巡礼」がより発展していくことが期待される。

研究者: (以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 蓬田皓介

担当教諭 柿沼亮介

(受給額: 30000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEBページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真 :

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)

